

～「宇宙工学講座」の開講式に参加しました～

(理数科1, 2年および普通科2年生)

岐阜大学が主催する「第6回 宇宙工学講座」の開講式が、7月4日(日)に各務原市の各務原航空宇宙博物館にて開催されました。本校からは、参加校中最多の11名が受講し、2年3組の酒井一真さんが受講生を代表して挨拶を行いました。



この講座では、7月～12月の半年間、放課後にWeb会議システムを用いたオンライン講義(全9回)が開催されるほか、缶サット甲子園の県予選大会やモデルロケット、衛星通信の講習会など、多彩なプログラムが用意されています。

開講式では、第1回の講座を修了した大学生の先輩たちや、缶サット甲子園全国大会に出場した岐阜高専の学生さんによる講演も行われました。

以下は参加した生徒の感想です。

今回、はやぶさ2の「流星バースト通信」プロジェクトの報告を聞いて、自分たちと年齢が近い先輩がJAXAと協力して計画を進めていったことに衝撃を受けた。
一つ一つ丁寧に実験を取り進めていった先輩方の姿を、講座の後輩の私たちも見習っていきたい。

缶サットについて岐阜高専の方から話を聞くことができた。自分たちが設定した「月など着陸地点の地形」を調べるミッションなど、実際の缶サット衛星を見て、イメージが膨らんだ。今後の講座でさらに詳しく知りたいと思った。

「地形を明らかにする」という目的のために身近にあるものからアイデアを膨らませて、独自の観測方法を確立してすごいと思いました。プレゼンテーションも内容が分かりやすく、聞き取りやすい発表だったので参考にしたいです。

